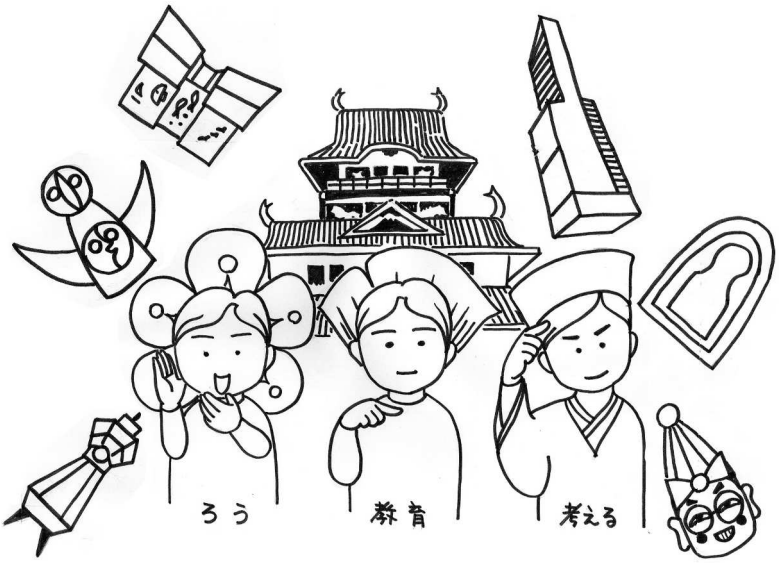
第 27 回ろう教育を考える
全国討論集会 in 大阪
参加ご案内

テーマ：手話言語法(仮称)と子どもたち



2015（平成27）年 7月30日(木)～8月2日(日)

会　場　サンスクエア堺(堺市立勤労者総合福祉センター)
大阪健康福祉短期大学　他

主　催　特定非営利活動法人　ろう教育を考える全国協議会

主　管　第 27 回ろう教育を考える全国討論集会 in 大阪実行委員会

ごあいさつ

２０１５年度は、第２７回ろう教育を考える全国討論集会が大阪で開催されます。

第１回集会は、１９８９（平成元）年８月に大阪で開催されました。２６年ぶりに大阪にまわってきたわけですが、この長い足跡を築いてこられた全国各地の先輩、会員、関係者の皆さまには心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

振り返りますと、平成元年は第１回手話通訳士試験が行われた年です。手話通訳が公的な資格として認められてから、手話が言語として位置付けられるようになるまで、実に２６年かかりました。

今年の集会のメインテーマは「手話言語法（仮称）と子どもたち」です。平成元年当時と比べると、私たちを取り巻く社会情勢は大きく変わりました。２０１３年より全国の市町村の約９８％、また全都道府県で「手話言語法（仮称）の早期制定を求める意見書」が採択され、また各地で手話言語条例が可決されるなど、私たちのろうあ運動が法律制定に向けて、国を動かす大きな力となってきています。

一方で教育の現場でも、ろう学校から特別支援学校という名称に変わる所も増えており、ろう学校の独自性が失われつつあります。ここ大阪でも手話教育で１００年を超える歴史を誇る大阪市立ろう学校が２０１７年から大阪府に移管されることになりました。行政主導の統廃合により、子どもたちが十分な教育を受けられなくなるようなことは、絶対に阻止しなければなりません。

ろう学校では児童・生徒の数が減っており、インテグレーションなどにより自分と同じ聴覚障害を持つ先輩との関わりがないまま、一般の学校で学んでいる児童・生徒も数多くいます。大学へ通う聴覚障害を持つ若者も昔に比べると格段に増えました。彼らの授業に対する情報保障の問題もあります。

私たちがろうあ運動を通して、情報保障の必要性や、耳が聞こえないことへの理解を広げ、ろうあ者の生活と権利を守っていくことが、ろうの子どもたちの生きがいある将来に深く結び付くのです。

２日間の集会では、７つの分科会と３つの講座を用意しました。また、他にも皆さんに楽しんでいただけるような企画を検討中です。大阪の街を楽しみながら、皆さんと共に学び、子供たちがこれからもっと充実した環境で、実りのあるろう教育が実現できるよう願っております。

８月の暑い盛りの開催ですが、ぜひ皆様で連れ立って大阪までお越し下さい。心よりお待ち申し上げております。

第27回ろう教育を考える全国討論集会in大阪

実行委員長　　大竹　浩司

大阪集会の開催によせて

昨年の８月２日～３日、東京都において２２年ぶりに開催されました第２６回ろう教育を考える全国討論集会は、全国から約５５０名の皆さんに集まっていただきました。「共に変えよう！　新しいろう・難聴教育」をテーマとし、ろう・難聴児（者）が主体となるろう教育の確立に向けて、手話言語法制定推進運動とも連動して取り組んでいくことを確認した集会だったと思います。また、ろう・難聴児の気持ちに共感できるコミュニケーション力、書記日本語の獲得などの教育実践を学び、情報交換ができました。

私たちの取り組みの特徴は、聴覚障害当事者の視点からろう教育を発展させていくことです。ろう学校は、情報アクセシビリティとコミュニケーションが十分に保障された教育現場として大切であり、手話と日本語の二つを生き生きと使える専門性を構築していくことをろう教育の理念として確立し、また教育実践を広げていくことが重要です。

さて、第２７回集会は７月３１日（金）～８月２日（日）、大阪府にて開催されます。第１回集会が開催された地です。公益社団法人大阪聴力障害者協会を中心に構成された実行委員会が主管の重責を担っていただき、私たちを迎えていただきます。

今回は、高橋　潔先生ら、手話をろう者の母語として大切に育んできた大阪市立ろう学校の歴史に学びつつ、「手話言語法と子どもたち」をテーマとして、東京集会のテーマを受け継ぎ発展させた魅力的な企画が用意されています。

ろう・難聴児が、主体となって生き生きと育つろう教育のために学び合う事ができる集会です。ろう学校関係者、保護者、障害当事者団体と協力団体等の皆さん、全国に広く開かれた大阪集会へぜひお集まり下さい。

全国から多くの皆さまが参加されますよう、心からお願いします。

特定非営利活動法人ろう教育を考える全国協議会
理事長　小中　栄一

開催要項

１．目　的

①ろう・難聴児（者）が、これからの日本を担い得る社会人として、手話をはじめとする分かり合えるコミュニケーション環境を保障され、いきいきと学び育つことを願い、全国のろう・難聴者、保護者、教職員、研究者、手話にかかわる人たち等が一堂に会し討論することによって、全ての人に適切な教育が保障され、自立し共存できる社会の実現に寄与することを目的とする。
②全国各地のろう教育を考える会の交流を図る。
③開催地を中心とする地域の関係者のより一層の理解と啓発を図ると共に、ろう教育を考える会を設立する。

２．事業名称
第27回ろう教育を考える全国討論集会in大阪

３．メインテーマ「手話言語法（仮称）と子どもたち」

４．主　催
特定非営利活動法人ろう教育を考える全国協議会

５．主　管
第２７回ろう教育を考える全国討論集会in大阪実行委員会
（実行委員会構成団体（予定）:
公益社団法人大阪聴力障害者協会、大阪手話サークル連絡会、大阪手話通訳問題研究会、
大阪市要約筆記サークル「みおつくし」、大阪市立聴覚特別支援学校、大阪府立生野聴覚支援学校、
大阪府立堺聴覚支援学校、大阪府立だいせん聴覚高等支援学校、児童発達支援センター（主として難聴児）ゆうなぎ園、大阪デフファミリーの会）

６．後　援（予定）
文部科学省、厚生労働省、大阪府、堺市、大阪府教育委員会、堺市教育委員会、
大阪市立聴覚特別支援学校、大阪府立生野聴覚支援学校、大阪府立堺聴覚支援学校、
大阪府立だいせん聴覚高等支援学校、大阪市立聴覚特別支援学校ＰＴＡ、
大阪府立生野聴覚支援学校ＰＴＡ、大阪府立堺聴覚支援学校ＰＴＡ、
大阪府立だいせん聴覚高等支援学校ＰＴＡ
社会福祉法人大阪府社会福祉協議会、社会福祉法人堺市社会福祉協議会、大阪府身体障害者福祉協会、新聞社各社、放送局各局

７．協　力（予定）
特定非営利活動法人大阪府中途失聴・難聴者協会、特定非営利活動法人大阪市難聴者・中途失聴者協会、全日本ろう学生懇談会近畿支部、近畿ろうあ連盟、近畿地区聴覚障害教職員懇談会、堺市ろうあ者福祉協会、堺市中途失聴・難聴者協会

８．会　期
２０１５年７月３０日（木）～８月２日（日）　４日間（集会は８月１日～２日）

９．会　場
サンスクエア堺（堺市立勤労者総合福祉センター）堺市堺区田出井町２－１
大阪健康福祉短期大学（堺市堺区田出井町２－８）ＪＲ阪和線「堺市駅」下車徒歩５分

１０．内　容

７月30日（木）午後　三役会
７月31日（金）午前　理事会、午後　総会
８月１日（土）集会　開会式、記念講演、分科会、入門講座、選択講座
家族の情報交換会、交流会
８月２日（日）集会　分科会、入門講座、選択講座
全体報告会、閉会式
８月１日（土）～２日（日）　小中高生企画

１１．参加者

ろう教育を考える全国協議会会員・一般参加者　計　５００名
小中高生企画　３０名

１２．問合せ先

案内書の最後に記載

集　会　日　程　表

<table>
<tr><th></th><th>9:30</th><th>10:00</th><th>10:30</th><th>10:45</th><th>12:30</th><th colspan="2">13:30</th><th>17:00</th><th>18:30</th></tr>
<tr><td rowspan="12">８月１日
（土）</td><td rowspan="9">受付</td><td rowspan="9">開会式</td><td rowspan="9">基調報告</td><td rowspan="9">記念講演</td><td rowspan="9">昼食</td><td colspan="2">分科会</td><td rowspan="9">移動</td><td rowspan="9">交流会</td></tr>
<tr><td colspan="2">１．早期教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">２．手話と日本語</td></tr>
<tr><td colspan="2">３．手話言語法とろう教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">４．重複障害児教育
（発達障害児、学習障害児含む）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">選択</td><td>５．教員養成の課題</td></tr>
<tr><td>６．難聴学級</td></tr>
<tr><td>７．寄宿舎</td></tr>
<tr><td colspan="2">入門講座　ろう教育についての基礎知識</td></tr>
<tr><td colspan="2">ろう児・難聴児をもつ家族の情報・意見交換会</td></tr>
<tr><td rowspan="2">受付</td><td colspan="7">小中高生企画　（宿泊：新大阪ユースホステル）</td></tr>
<tr><td colspan="6">保育</td><td></td></tr>
</table>

9:00　　11:00　　12:00

<table>
<tr><td rowspan="10">８月２日
（日）</td><td colspan="2">分科会</td><td rowspan="7">全
体
報
告
会</td><td rowspan="10">閉
会
式</td></tr>
<tr><td colspan="2">１．早期教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">２．手話と日本語</td></tr>
<tr><td colspan="2">３．手話言語法とろう教育</td></tr>
<tr><td colspan="2">４．重複障害児教育
（発達障害児、学習障害児含む）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">選
択</td><td>講座１．
場面に応じた豊かなコミュニケーション</td></tr>
<tr><td>講座２．人工内耳と学生生活</td></tr>
<tr><td>講座３．芸術ワークショップ</td></tr>
<tr><td colspan="2">入門講座　ろう教育についての基礎知識</td></tr>
<tr><td colspan="3">小中高生企画</td></tr>
<tr><td colspan="3">保育</td></tr>
</table>

プログラム

全体企画― 記念講演　　１日目（８月１日）　１０：４５～１２：３０	
テーマ	「大阪のろう教育の歴史～過去・現在・未来～」
内容	講師　松本　晶行氏 （公益社団法人大阪聴力障害者協会理事会相談役、前大阪市立ろう学校同窓会会長） パネラー ・清田　廣氏（公益社団法人大阪聴力障害者協会副会長、大阪府立生野ろう学校卒業生） ・中塚智雄氏（公益社団法人大阪聴力障害者協会常任理事、大阪府立堺ろう学校卒業生） ・駒井雅夫氏（公益社団法人大阪聴力障害者協会監事、 元大阪府立だいせん聴覚高等支援学校教諭） ろう教育に対する社会偏見や差別の中、ろうあ運動によって確立した教育・福祉・労働などを勝ちとってきた大阪の各ろう学校卒業生に、それぞれの学校の経験、歴史の背景などを話していただき、ろう教育と権利を守るためにこれからのろう教育はどうあるべきか、どのように活かしていくべきかを語っていただきます。

【分科会】
◇二日間（８月１日（土）～２日（日））

分科会	テーマ	講師・指定討論者	内容趣旨
分科会１ (8月1日) 13:30～ 17:00 (8月2日) 9:00～11:00	早期教育	南村　洋子氏 （全国早期支援研究協議会会長）	今日、新生児聴覚スクリーニング検査や乳幼児健診などによって、早期に聴覚障がいが発見される乳幼児が増えています。重要となるのは、ろう学校幼稚部・幼児教室・難聴幼児通園施設・専門施設などの諸機関の取り組み、保護者支援です。具体的な体験や実例を通して、各機関の役割、連携のあり方について、話し合いましょう。また保護者にとって望ましい支援のあり方についても意見を交換しましょう。
分科会２ (8月1日) 13:30～ 17:00 (8月2日) 9:00～ 11:00	手話と日本語	高田　英一氏 （日本手話研究所所長、『手話教育　今こそ！』著者）	手話を言語の基本におき、日本語の読み書き能力（リテラシー）の向上を図り、「完全参加と平等」を目指す手話教育を聴覚障害当事者の目線で考えます。
分科会３ (8月1日) 13:30～ 17:00 (8月2日) 9:00～ 11:00	手話言語法と ろう教育	手話言語条例が制定された自治体の関係者 ろう協会やろう学校などの関係者	2013年に全国で初めて手話言語条例を制定した鳥取県、神奈川県など。ろう教育の現場はどのように変わったか？教育委員会、ろう学校などろう教育に携わった人々から話を聞き、どう取り組めばよいか考えていきましょう。

分科会４ (8月1日) 13:30～ 17:00 (8月2日) 9:00～11:00	重複障害児教育 （発達障害児、自閉症なども含む）	加藤 登美子氏 （大阪発達支援センター「ぽぽろ」ことばと発音教室室長）	ろう教育のニーズも多様化し、さまざまな課題を持つ子どもが増えています。ろう重複障がい児、発達障がいを併せ持つ聴覚障がい児にとって望ましいサポートや教育環境について話し合います。現状の課題を整理して、今後のよりよい環境作り、サポート体制につなげていきましょう。

【選択コース】

◇８月１日（土）

分科会	テーマ	講師・指定討論者	内容趣旨
分科会５ (8月1日) 13:30～ 17:00	教員養成の課題	金沢　貴之氏 （群馬大学教授）	ろう学校また聴覚障がい教育機関においては、手話、発音、言語の指導、聴能の知識等幅広い専門性が教員に求められています。そのため、大学など教員を養成する場ではどのようなカリキュラムが必要かを考えていきます。また各地でろう学校の先生の異動が増えています。新しい先生の研修についての様々な取り組み、工夫についても情報を交換していきましょう。
分科会６ (8月1日) 13:30～ 17:00	難聴学級	北口　美香氏 （岸和田市立大宮小学校教諭） 栗原　麻弥氏 宮脇　拓也氏 （吹田市立吹田第二小学校教諭）	ろう学校以外の場で学ぶ子どもたち。きこえる世界できこえない子どもはどのように学び、成長していくのでしょうか。心の発達のサポートや障がい認識の形成について、様々な報告を聞き、考えていきましょう。
分科会７ (8月1日) 13:30～ 17:00	寄宿舎	（交渉中）	寄宿舎は今までろう教育においては、単なる寝起きする場ではなく、集団やコミュニケーションを保障し、社会的に自立できる力を育てるのに重要な役割を果たしてきました。寄宿舎の取り組みや、抱えている課題を知り、討議を深めていきましょう。

◇８月２日（日）

講座	テーマ	講師	内容・趣旨
講座１ (8月2日) 9:00～11:00	場面に応じた豊かなコミュニケーション	早瀬　憲太郎氏	聞こえない子どもを育てる中、生活のさまざまな場面で子どもとどのようにコミュニケーションを取ればよいかを、ロールプレイを通して学びましょう。

講座２ (8月2日) 9:00～11:00	人工内耳と学生生活	諏訪　圭子氏 （大阪大学医学部附属病院）	年々増える人工内耳を装用する子どもたち。人工内耳のメリットとデメリットを知り、親や先生など教育に関わる人たちはどのように支援し、心のケアを行なうべきか、考えていきましょう。
講座３ (8月2日) 9:00～11:00	芸術ワークショップ	大阪パントマイムグループ （芳本光司氏・田中真吾氏）	身振りや表情の動きで表現するパントマイムを通じて、身体表現の初歩的な体の使い方から、心の動きを表現する方法まで学びましょう。 指導していただくのは、全国初のろう者主体として今から37年前に設立された「大阪パントマイムグループ」で、2015年2月21日に通算500回公演を達成しました。

【入門講座】

◇二日間（８月１日（土）～２日（日））

入門講座	テーマ	講師	内容・趣旨
入門講座 (8月1日) 13:30～ 17:00 (8月2日) 9:00～11:00	ろう教育についての基礎知識	①早期幼稚部と小学部の教育 ②中学、高等部の教育 （進路指導など） ③ろう教育の歴史 （それぞれの講師交渉中）	1878年に京都でろう教育が始まって以来、最初は手話法でしたが、1900年代には手話法が排除され、聴覚口話法の時代に突入。ここ近年より「手話は言語である」として再び手話法へ変わりつつあります。ろう教育の歴史的背景を知り、その理念や現在の動向、課題など基礎知識を学びましょう。初めてろう教育に触れる方にお勧めです。

【その他】

ろう児・難聴児をもつ家族の情報・意見交換会	（８月１日） 13:30～17:00	・難聴児親の会 ・ろう学校 PTA 保護者	ろう学校や通常の学校で学ぶ子どもたちの実態、各地のろう学校や難聴学級、通級指導教室の取り組みを報告し、情報交換を行うと共に課題を明らかにし、私たち保護者にできることを存分に話し合いながら今後のよりよい在り方を考えていきましょう。
交　流　会	（８月１日） 18:30～20:30	定員　８０名	クイズやパントマイムなど大阪の文化に触れて交流を楽しみましょう。
府内各ろう学校のパネル展示 （写真など）	（８月１日） 10:45～17:00 （８月２日） 9:00～12:00		大阪府内のろう学校の昔なつかしい写真などを展示します。
小中高生 企画	８月１日（土）　９：００～１７：００ ８月２日（日）　９：００～１１：００		小中高生企画参照（１０頁参照）
保育	８月１日（土）　９：００～１７：００ ８月２日（日）　９：００～１２：００		対象は３歳以上就学前のお子様

小中高生企画

8月1日（土）

大阪のまちたんけん

8月2日（日）

いろいろなせんせいに おしえてもらおう

おたのしみに！

8月 1日（土）　主なスケジュール

9:00　サンクスエア堺に集合

9:30　説明・班分け

10:00　『大阪のまちたんけん』スタート

17:00　宿泊所に到着

18:30　夕食（宿泊者のみ）

8月2日（日）朝

大阪健康福祉短期大学に移動

8月2日（日）　主なスケジュール

9:00　大阪健康福祉短期大学に集合

9:10　説明

9:30 - 11:00

『いろいろなせんせいに

おしえてもらおう』

◆参加できるひと／小学生、中学生、高校生

◆定員／8月1日（土）～2日（日）（宿泊付）参加の定員　30名

※8月1日だけ、8月2日だけの定員はありません。

◆宿泊／新大阪ユースホステル（大阪市東淀川区東中島1-13-13　JR新大阪駅5分）

◆参加費／8月1日（土）～2日（日）（宿泊付）参加　10,000円

（宿泊費、食事代、交通費、傷害保険料等を含む）

8月1日だけ参加　5,000円（食事代、交通費、傷害保険料等を含む）

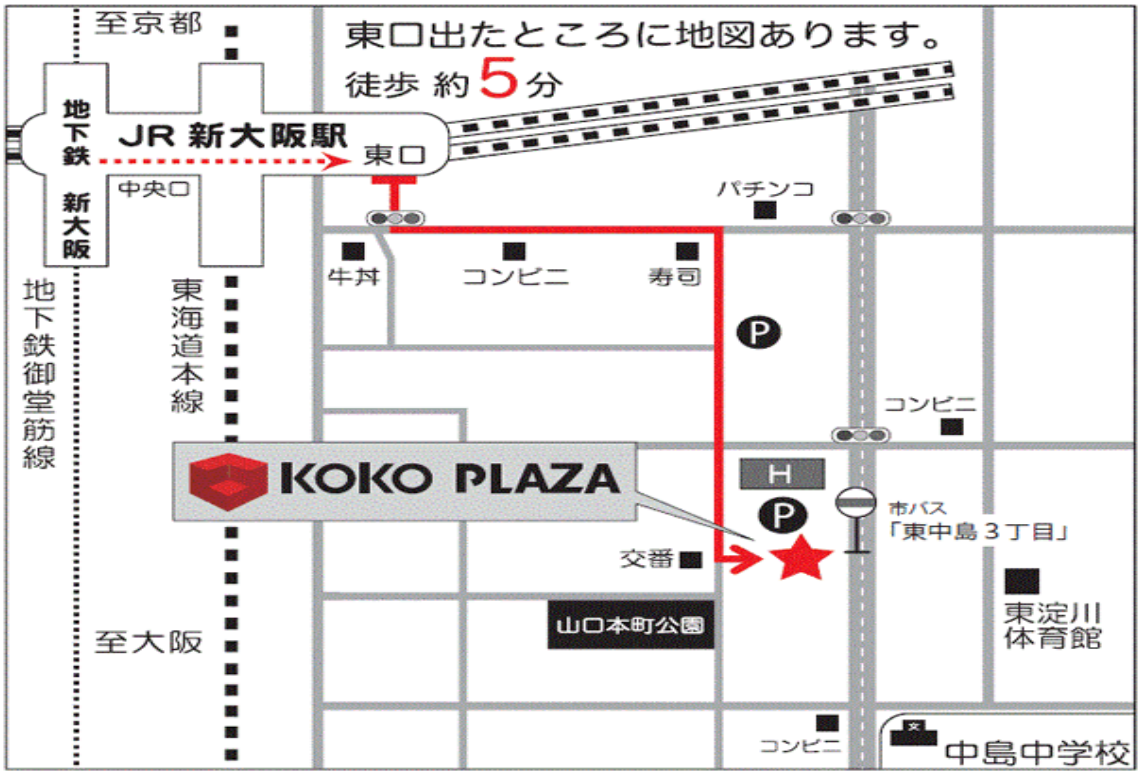
8月2日だけ参加　2,000円（傷害保険料等を含む）

※8月2日（日）の企画は、定員に満たない場合、内容が変更になる場合があります。

※スケジュール、持ち物などの詳しいことはお申し込みいただいた方にお知らせいたします。

＜小中高生企画の宿泊先＞

新大阪ユースホステル（東淀川区）
ＫＯＫＯ　ＰＬＡＺＡ（大阪市立青少年センター）と同じ建物の中です。



・JR 京都線「新大阪駅」下車、東口（南側）より徒歩約５分
・地下鉄御堂筋線「新大阪駅」下車、中改札より徒歩約１０分

交流会のご案内

親睦を深めながら、大阪の夜を楽しみましょう！　皆様ぜひ、ご参加くださいませ。

会場：ホテル･アゴーラ リージェンシー堺
〒590-0985 堺市堺区戎島町４－45－1（南海電車「堺駅」西出口に直結）
ＴＥＬ：072－224－1121　　ＦＡＸ：072－224－1120

時間：８月１日（土）
夜１８時３０分～２０時３０分

参加費：５，０００円（消費税込み）

第２７回ろう教育を考える全国討論集会 in 大阪

お申し込みのご案内

◆お申し込み方法について

① 団体による申し込み、②個人による申し込みがあります。

① 団体による申し込みは、ろう教育を考える全国協議会（以下「協議会」）加入団体（別掲）都道府県のろう協または聴覚障害者団体及び関係団体（手話サークル等）で受け付けます。お申し込みは個人申込書に必要事項をご記入の上、参加者に要する費用を添えて団体担当の方にお申し込みください。

※各団体の担当者は、申し込みを集約して所定の「総括申込書」に記入して、実行委員会事務局にお申し込みください。なお、参加費等は指定の口座にお振込みください。

② 個人による申し込みは、団体に申し込みができない場合です。申込書に必要事項をご記入の上、実行委員会事務局（裏表紙を参照）にお申し込みください。なお、参加費は指定の口座にお振込みください。

◆レポート発表について

「分科会レポート発表」と「レポート用紙（レポート用）」は、各団体に届けてありますので、分科会のレポート発表を希望される方は、６月３０日までにお申し込みください。原稿提出締切は６月３０日とさせていただきます。レポートが多数の場合は、協議会と実行委員会で調整させていただきます。

◆参加費の振込先について

三井住友銀行　上町支店　（普通）　口座番号　１３４５３９２
公益社団法人　大阪聴力障害者協会　会長　大竹浩司

※通信欄に「教育集会参加費」と明記してください。

振込手数料は、ご負担をお願いします。

事務手続きや処理の混乱を避けるため、参加申込書の送付と参加費等の振込を、必ず同時にお願いします。

申し込み連絡は、郵送かＦＡＸもしくは添付メールでお願いします。電話でのお申し込みは受け付けません。

申込締切　２０１５年６月３０日（火）

◆チケットの送付について

①団体一括申込いただいた方の分は、その団体に一括送付しますので、お手数ですが、団体において参加者本人にお届けいただきますようご協力をお願い申し上げます。

②個人で申し込まれた方には、個人宅に送ります。

◆参加申込記入について

参加申込書は、研究分科会参加、小学生・中高生企画、託児、それぞれにご記入ください。

※申込書は、念のためコピーをとって保管してください。

≪注意事項≫

①団体申込・個人申込、いずれかに〇を付けてください。

②都道府県をご記入ください。

③参加者の氏名・性別・年齢・住所・連絡先をご記入ください。

④協議会賛助会員の有無、ろう者・聴者のいずれかに〇を付けてください。

⑤所属団体は、下記の中から番号でご記入ください。

１学校関係者　２保護者　３聴覚障害者　４手話関係者　５学生　６その他

⑥手話通訳以外の希望する情報保障手段か介助についてご記入ください。

⑦分科会を選択した方は２日間とも同じ分科会に、基礎講座を選択された方は２日間とも基礎講座にご参加ください。

⑧分科会及び基礎講座は、希望されるものに〇をご記入ください。参加者が多い場合は、実行委員会で調整する場合がありますので、第１希望・第２希望を必ずご記入ください。

⑨保育希望の申し込みには、お子さんの氏名・年齢等をご記入ください。

保育時間は、１日（土）９～１７時、２日（日）９～１２時です。

保育対象児は、原則として３歳以上就学前の子どもとします。

２歳以下の乳幼児、小学生以上の子どもや重複障害の子どもについては事情に応じて対応させていただきます。事前にご相談ください。

保育の定員は２０名とし、先着順で締め切らせていただきます。

⑩参加に要する費用については、該当欄に〇を付けてください。

Ａ	集会参加費	一般参加	６，０００円
		協議会正会員	４，０００円
		協議会賛助会員	４，０００円

※２０１５年度会費（２０１５年７月１日～２０１６年６月３０日）の納入を済ませていない方は、一般扱いとなります。

会費納入を済ませてからお申込みください。新規入会された場合も会員の参加費となります。

※当日、受付に集会参加受付と協議会会費受付を設けます。

・集会参加受付　：　実行委員会担当

・協議会会費受付：　ろう教育を考える全国協議会組織部

	参加費	ろう教育を考える全国協議会会費
一般参加	6,000 円	0 円
賛助会員	4,000 円	3,000 円
正会員	4,000 円	10,000 円

Ｂ　昼食弁当　　８月１日（土）　１，０００円（飲み物付き）
Ｃ　保育料　　８月１日（土）　１，０００円（おやつ付き）
＜昼食は付きませんので、休憩時間は保護者と一緒に食事をおとり下さい。＞
８月２日（日）　　５００円（おやつ付き）
Ｄ　交流会　　８月１日（土）　５，０００円（食事込み）
Ｅ　小中学生企画
・８月１日（土）～２日（日）１０，０００円（宿泊費、食事代、交通費等を含む）
・８月１日（土）だけ参加　　５，０００円（食事代、交通費等を含む）
・８月２日（日）だけ参加　　２，０００円

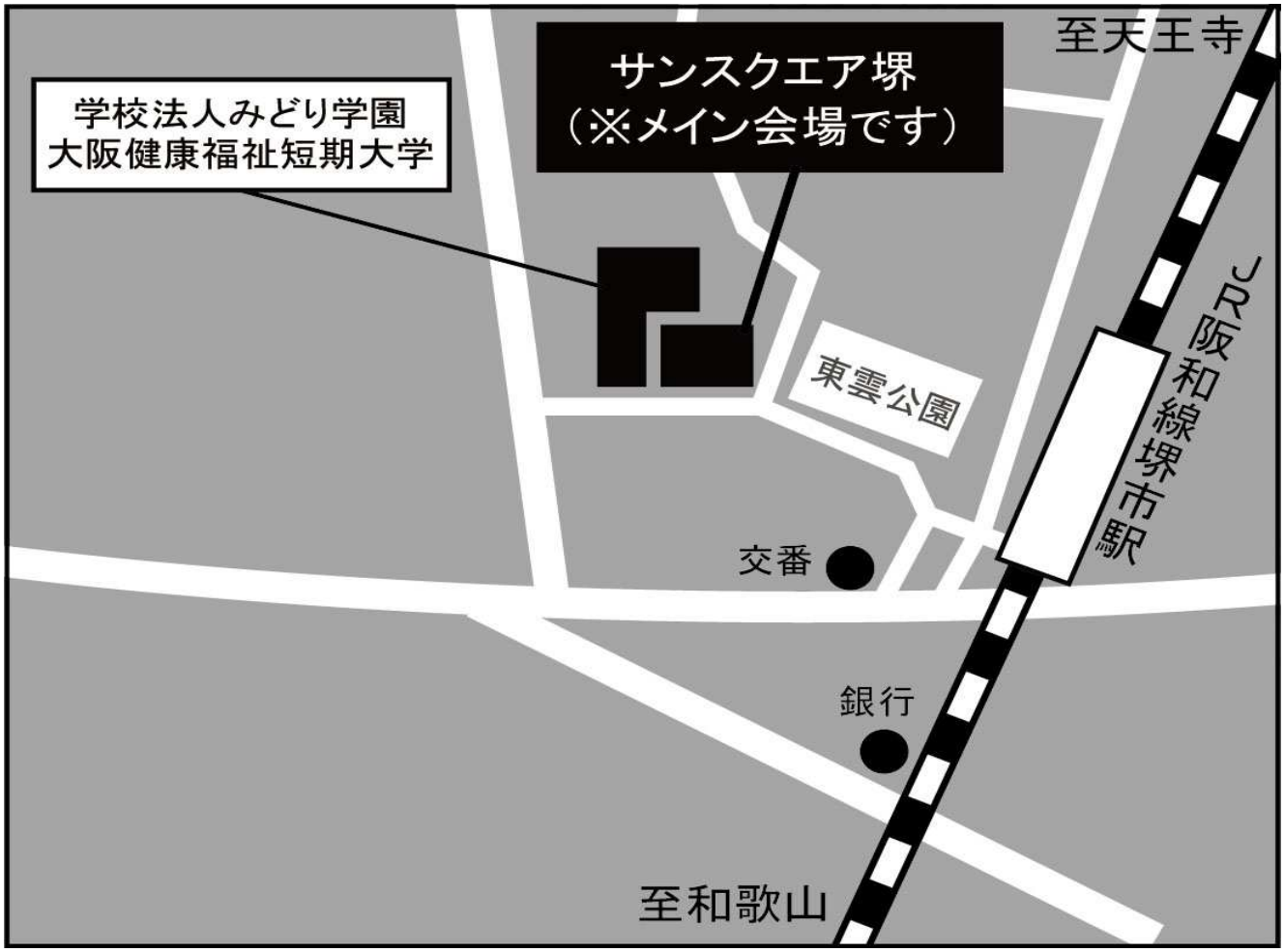
☆Ｃ～Ｅのすべての費用に傷害保険料が含まれています。
☆お申込み受付後、申込内容に沿ったチケットをお送りします。

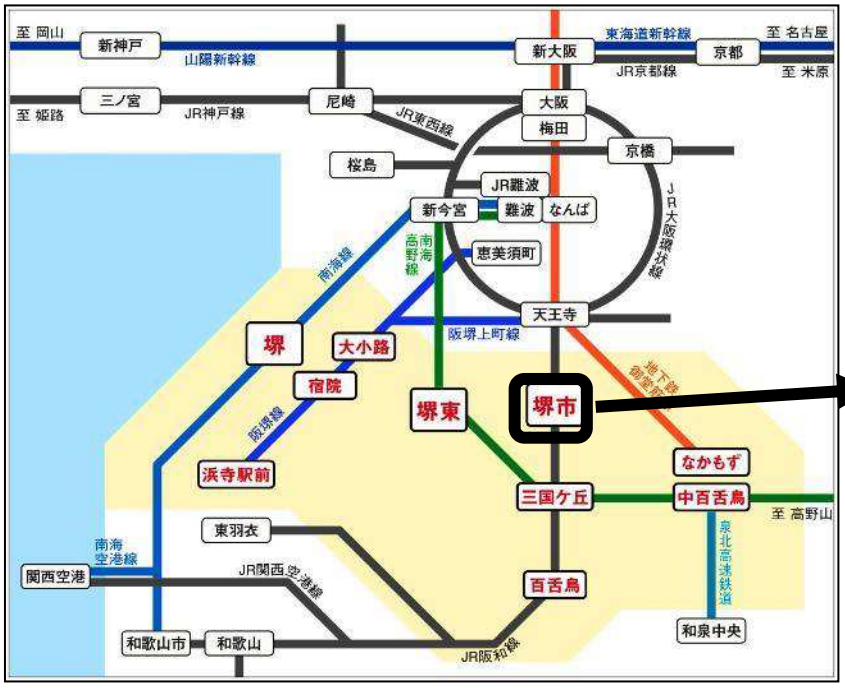
◆会場までの交通案内について

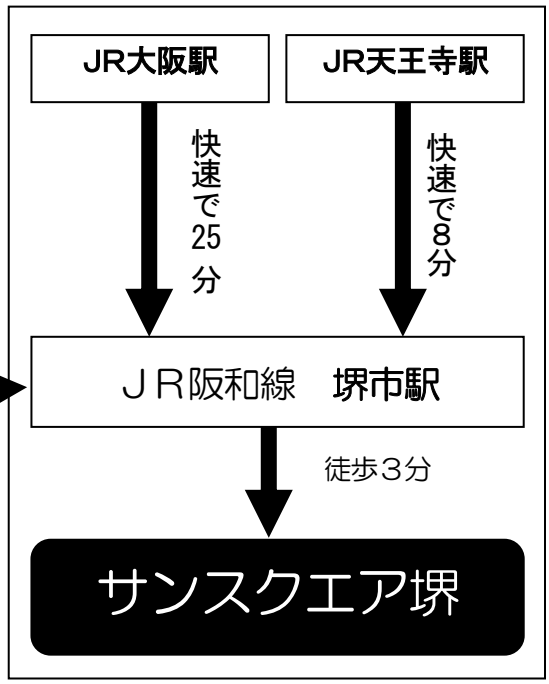
集会の会場は、サンスクエア堺（堺市立勤労者総合福祉センター）と大阪健康福祉短期大学です。どちらもＪＲ堺駅下車です。
車でお越しの際には会場の周辺の有料駐車場をご利用ください。会場には駐車場はありません。

◇サンスクエア堺（堺市立勤労者総合福祉センター）
〒５９０－００１４　堺市堺区田出井町２－１
（最寄駅：ＪＲ阪和線 堺市駅）（バス停：南海バス 阪和堺市駅前）

アクセスマップ







■メイン会場　サンスクエア堺（堺市立勤労者総合福祉センター）
〒590-0014　大阪府堺市堺区田出井町 2-1　TEL　072-222-3561　FAX072-222-8522

レポーター申込書

第２７回ろう教育を考える全国討論集会 in 大阪

ふりがな 氏　　名			ろう者・聴者
所属団体			
住　　所	〒		
TEL		FAX	
E―mail アドレス			
レポート 希望分科会	第　　分科会 テーマ		
レポートタイトル （仮題でも可） および概要			
発表方法	手話だけ（読み取り通訳込み）　手話と音声併用　音声だけ その他（　　）		
使用機器の希望	ＯＨＰ、プロジェクター、ビデオ、スライド その他（　　）		
その他　希望や意見、連絡がありましたら記入して下さい。			

※６月３０日までに実行委員会にお申込み下さい。

第２７回ろう教育を考える全国討論集会ｉｎ大阪

レポーター募集要項

１　レポートの内容と発表方法

（１）第２７回ろう教育を考える全国討論集会 in 大阪の分科会のテーマ、討論の主旨に沿ったものとします。各分科会のテーマと討論の主旨については、案内書に記載してあります。

（２）抽象的な一般論ではなく、体験や実績に基づく具体的な内容で、分科会における問題提起、問題解決のための討論の材料となるものをお願いします。

（３）発表にあたっては、できるだけＯＨＰやパワーポイントまたはビデオなど視覚的な表示手段を併用するようお願いします。なお、使用する機器については、別紙レポーター申込書の欄に明記してください。パソコンは、各自が持参されるようお願いいたします。※会場の都合で使用できない場合もあると思いますが、実行委員会では最大限の努力をいたします。

（４）レポート発表の時間は、１テーマにつき３０分を目安にします。なお、レポートの数によっては、時間の変動（延ばすか短縮するか）もあります。

（５）レポートの発表順、時間等については、当該分科会の座長に一任させていただきます。なお、特に希望がある場合は、予め実行委員会に申し出てください。

２　レポート発表の日時について

（１）レポートの発表日時は、追ってお知らせいたします。

（２）レポーターは、２日間とも発表する分科会に出席し、分科会討議に参加していただくことを原則とします。

（３）８月１日（土）１３時から昼食を取りながら、分科会ごとの指定討論者・座長・通訳者等関係者と顔合わせを兼ねて簡単な打ち合わせを行います。会場は、追ってお知らせいたします。

３　レポーターの人数について

各分科会３～４名とします。多すぎる場合は、座長・指定討論者の判断に委ねます。

４　レポーターの条件

（１）第２７回ろう教育を考える全国討論集会 in 大坂への申し込みをされた方に限ります。参加申し込みをされていない方は、応募できません。

（２）レポーターの昼食は、実行委員会が負担しますので、レポーターは、参加申込書の弁当欄には記入しないでください。

（３）レポーターには、わずかですが実行委員会から謝礼を準備いたします。なお、旅費・宿泊費など滞在に要する費用は自己負担でお願いします。

５　応募方法

添付されている所定のレポーター申込書に必要事項を記入して申し込んでください。

申込締切は６月３０日必着（厳守）です。

６　予稿について

（１）Ａ４縦長の用紙にパソコンまたはワープロを使った横書き、２ページまでとします。記入例は、次の通りです。

第〇分科会

「ろう教育における〇〇〇〇〇〇〇について」

所属団体　　〇〇県立〇〇学校（担当を明記して下さい）

氏名

〒

住所

ＴＥＬ　　ＦＡＸ

Ｅ-mailアドレス

（２）いただきました予稿は、そのまま予稿集に載せますので、よろしくお願いします。

（３）上下左右各２センチを空けるようにお願いいたします。

（４）予稿の提出は６月３０日必着（厳守）です。遅れた場合は、予稿集の掲載はできません。

（５）予稿は、必ずＥメールか郵送でお届けください。ＦＡＸは汚れることがありますので、ご遠慮ください。

（６）予稿以外に、当日資料の配布を希望される場合は、当該分科会参加人数に合わせた必要部数を各自で用意して、当該分科会の座長にお渡しください。なお、当該分科会参加人数は追ってお知らせいたします。

特定非営利活動法人ろう教育を考える全国協議会

ごあんない

　ろう教育の明日を考える連絡協議会は、１９８９年に結成され、毎年、夏に「ろう教育を考える全国討論集会」を開催してきました。本年は２７回目の大阪討論集会への参加者を呼びかけています。

　また、ろう教育の発展を願って出版活動にも積極的に取り組み、教科ごとの手話の指導書なども発行してきました。

　このような実績をもとに、２０１０年１月５日に、東京都知事から特定非営利活動法人として認証され新たにスタートすることになりました。

　この法人は、「ろう・難聴児（者）が、これからの日本を担い得る社会人として、手話をはじめとする分かりあえるコミュニケーション環境を保障され、いきいきと学び育つことを願い、全国のろう・難聴教育に関する全国討論集会開催事業、研究企画事業、書籍物出版事業、学校支援事業、普及啓発事業の推進を図ることで、全ての人に適切な教育が保障され、自立し共存できる社会の実現に寄与することを目的とする。」としています。

そして、目的を達成するために、以下の事業を行います。

（１）ろう・難聴教育に関する全国討論集会開催事業
（２）ろう・難聴教育に関する研究企画事業
（３）ろう・難聴教育に関する書籍出版物事業
（４）ろう・難聴教育に関する学校支援事業
（５）ろう・難聴教育に関する普及啓発事業
（６）その他目的を達成するために必要な事業

主たる事務所は東京都新宿区山吹町１３０エスケイビルです。
そして、代表理事は小中栄一（一般財団法人全日本ろうあ連盟副理事長）です。

事業年度は２０１５年７月１日から２０１６年６月３０日までを現年度とし、各種事業の実施に取り組みます。大阪集会会場で総会も行われます。
年会費は正会員（個人・団体）１万円、賛助会員は３千円です。入会は別紙をご覧ください。

特定非営利活動法人 ろう教育を考える全国協議会ホームページにも掲載しています。
　http://www.normanet.ne.jp/~deafedu/
◇総合問合せ先：事務局長　石橋大吾　メール：ishibashi@torideaf.jp

◇会費に関する問合せ先：組織部　笹川和廣
メール：japan-kazu-mt.fuji3776@zeus.eonet.ne.jp　　ＦＡＸ：０７２－８３４－６３１９

特定非営利活動法人　ろう教育を考える全国協議会

会員募集のお知らせ

特定非営利活動（ＮＰＯ）法人ろう教育を考える全国協議会では年１回の全国討論集会開催、会報発行、出版物等みなさまの会費をもちまして活動しております。ご賛同される方は個人賛助会員に、もしくは地域に「当会に関わる地域団体」（下記の団体）がございましたら「地域団体賛助会員」になることができます。

正会員（個人・団体）

年会費　　１０，０００円（会計年度７月１日から翌年６月３０日）

特　典　　１．総会への参加で意見を述べることが出来ます。議決権があります。

２．会報「ろう教育の明日」（年３～４回発行）の無料送付

３．「ろう教育を考える全国討論集会」の参加費割引

賛助会員（個人）

年会費　　１口　３，０００円（会計年度７月１日から翌年６月３０日）

特　典　　１．総会への参加（意見を述べることは出来ますが、議決権はありません。）

２．会報「ろう教育の明日」（年３～４回発行）の無料送付

３．「ろう教育を考える全国討論集会」の参加費割引

入会方法　　郵便振替用紙に住所、氏名を書いて、通信欄に正会員、賛助会員の別、FAX 番号、E メールアドレスなど連絡先を書いて、下記宛に送金して下さい。

加入者名　　ろう教育全国協議会

口座番号　　００８２０―１―２０６７５１

地域団体賛助会員　　年会費　　３，０００円（会計年度・特典などは、賛助会員と同じ）

（地域で窓口があるのは下記の①③⑥、それ以外は上記へ振込）

※「ろう教育を考える連絡協議会」加入している地域団体

① 聴覚障害教育を考える北海道連絡協議会（受付窓口あり、地域還元あり。）

② みやぎのろう教育を考える会

③ 埼玉の聴覚障害教育を考える会（受付窓口あり、地域還元あり。）

④ 愛知のろう教育を考える会

⑤ 和歌山聴覚障害教育を語る会

⑥ 広島県の聴覚障害教育の明日を考える会（受付窓口あり、地域還元あり。）

⑦ 福岡県聴覚障害教育を考える会

⑧ 熊本県聴覚障害教育を考える会

⑨ 宮崎県聴覚障害教育の充実をめざす連絡協議会

⑩ 公益社団法人大阪聴力障害者協会

⑪ 社会福祉法人富山県聴覚障害者協会

⑫ 一般社団法人全国手話通訳問題研究会

2015年　　月　　日

第27回ろう教育を考える全国討論集会in大阪

小・中高校生企画　参加申込書

●申込書は、必ずコピー（控え）をとってお手元に保管しておいて下さい。
●6月30日（火）までにお申し込み下さい。

ふりがな		性　別			コミュニケーション方法
氏　名		男 女	ろう者・聴者		手話・口話・筆談
生年月日	平成　　年　　月　　日（　　歳）	学年	小学生 中学生 高校生	年生	
住　所	〒				
FAX番号		電話番号			
E-mail					
参加希望		2日間　(8月1日（土）～2日（日）　2日間参加（宿泊付き）)			
		1日目だけ　(8月1日（土）のワークショップのみ参加)			
		2日目だけ　(8月2日（日）のワークショップのみ参加)			

保護者記入欄（おとうさんやおかあさんにかいてもらってね）

ふりがな		続柄	コミュニケーション方法
保護者の名前	男 女	父・母・ そのほか（　　）	手話・口話・筆談
緊急連絡先	TEL（携帯） Eメール 携帯アドレス	送り迎えの有無	有・無

健康調査　(必ず記入してください)
現在服用している薬はありますか？
ない・ある　⇒　薬品名、服用回数、量
アレルギー（薬、動植物等）、食物制限、乗り物酔い、湿疹、喘息等、ご心配なことはありますか？
スタッフに対して希望されることや気をつけてほしいことはありますか？

注意事項

2015年　　月　　日

第27回ろう教育を考える全国討論集会in大阪　参加申込書

団体　・　個人

都道府県名

●申込書は、必ずコピー（控え）をとってお手元に保管しておいて下さい。
●6月30日（火）までにお申し込み下さい。

ふりがな		性　別	年　齢	全国協議会会員の区分(※1)	
氏　名		男 女	歳 （学年）　年	会員　・賛助会員　・　非会員	ろう者・聴者
住　所	〒			団体区分	
TEL（　　）　－　FAX（　　）　－				※　該当するところに〇を付けて下さい。 1　学校関係者　2　保護者 3　聴覚障害者　4　手話関係者 5　学　生　6　その他	
E-mail					
所属団体名		手話通訳以外の必要とする情報保障、または介助に〇を付けて下さい。 ①磁気誘導ループ　②車いす使用　③要約筆記 ④盲ろう通訳（希望の通訳方法＿＿＿＿＿＿＿＿）※2　⑤その他			

※1　全国協議会会員の区分＝地域団体の加盟有無に関わらず、個人が正会員か賛助会員であることが条件となります。
※2　盲ろう通訳の手配などについては事前に相談してください。

研究分科会参加記入欄

※分科会を選択した方は同じ分科会に2日間、選択コースを選択された方は2日間とも選択コースに参加して下さい。

分科会・入門講座希望欄（8月1日-2日		
区　分	第1希望	第2希望
第1分科会		
第2分科会		
第3分科会		
第4分科会		
入門講座		

※希望するところに〇をつけてください。

選択コース希望欄（8月1日）			選択コース希望欄（8月2日）		
区　分	第1希望	第2希望	区　分	第1希望	第2希望
第5分科会			講座1		
第6分科会			講座2		
第7分科会			講座3		
開会式・記念講演	出席	欠席	閉会式	出席	欠席

ろう児・難聴児をもつ家族の情報・意見交換会	8月1日（土）午後	
交流会	8月1日（土）夜	

保育申込み記入欄

希望欄に〇を付け、お子様のお名前、年齢等をご記入下さい。 ※対象は3歳以上就学前のお子様です	期日	時間	希望欄	お子様のお名前（ふりがなも付けて下さい。）
	1日（土）	9～17時		（　歳）ろう・聴（男・女）
	2日（日）	9～12時		（　歳）ろう・聴（男・女）
小中高生企画参加者には、万一に備えて傷害保険をかけますので、氏名・生年月日を必ず記入して下さい。	ふりがな			生年月日
	氏名			年　月　日 （　歳）ろう・聴（男・女）

※小中高生企画参加者は別紙の申込書にご記入下さい。

[redacted]

□該当する欄に〇印および必要事項をご記入のうえ、申込金額の合計を算出して下さい。

項　目	種　別	金　額	希望欄	備　考
A.集会参加費	一般参加	6，000円		
	会 員	4，000円		正・賛助会員
B.昼食弁当	8月1日	1，000円		
C.保育料	8月1日	1，000円		おやつ付・保険料込み
	8月2日	500円		おやつ付・保険料込み
D.交流会	8月1日	5，000円		食事・保険料込
E.小学生・中高生企画	2日間	10，000円		宿泊・食事・交通・保険料込
	8月1日のみ	5，000円		食事・保険料込
	8月2日のみ	2，000円		保険料込
合　計　金　額		円		

連絡欄

※記入後、コピーして控えを取って下さい。
※お申し込み後、参加を取り消された場合、集会参加経費はお返しできません。ご了承ください。

手話言語法が制定されれば…

ろう学校で楽しい手話による授業
手話を学ぶ授業

◆　実行委員会事務局所在地・参加申し込み先・レポート提出先
お問い合わせ先は下記へ

〒540-0012
大阪市中央区谷町 5-4-13 大阪府谷町福祉センター
大阪ろうあ会館内　公益社団法人 大阪聴力障害者協会気付
第 27 回ろう教育を考える全国討論集会 in 大阪実行委員会
FAX：06-6768-3833　　TEL：06-6761-1394
E-mail：roukyo2015osaka@yahoo.co.jp